

イクボスってなあに？

イクボスとは職場で働く部下、スタッフの仕事と生活の両立を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の業績の成果を出すことができる経営者や管理職です。



まずは
知ってほしい！
部下が抱える
仕事と生活の両立
への様々な思い

成果を出しても
残業しなければ
上司は評価して
くれないのでは？

育児休業を
とりたいけど、
誰にいつ頃
相談したら
いいのかな？

「部下の人生を応援しながら業績もアップする」
そんなチャレンジ、始めてみませんか？

どんな人も働きやすい風土づくりのキーマン。それがイクボス！

育児や介護、自己啓発、地域活動、通院による時間の制約の有無に関わらず、誰もが働きやすい職場環境を作り出すのがボスです。ボス自らも率先してプライベートを楽しむなどし、ボス自身が多様なライフスタイルを受け入れ、応援することができれば部下への理解も深まりやすいのでは？

考えられるメリット

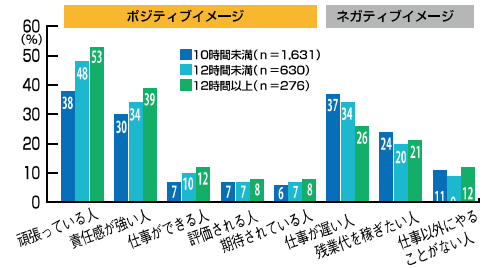
- 希望するライフスタイルを実現できる職場なら優秀な人材の定着率がアップ
- 部下の職場環境への満足度がアップしより就労意欲を引き出すことができる
- 人材能力開発、業務の見直し、情報共有等仕事の効率化へのきっかけになる

「残業をすること＝上司から評価される」イメージを取り除こう！

「上司の、残業している人に対するイメージ」は、労働時間が長い部下ほど、「頑張っている人」といったポジティブなイメージを持っていることがわかります。会社が仕事と生活の両立を支援していくなら、スタッフの残業に対する思い込みが間違いだと思わせることも大切です。

内閣府「ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査」
(平成25年度)より引用→
正規社員・労働時間別の調査(上司についての想定回答)

上司にとって、「残業している人」のイメージ(労働時間別・複数回答)



個人の成果よりチームで成果を出すことを意識しよう！

残業をなくすために時間の効率化や、社内情報の共有徹底など業務改善に取り組むことで、段取り力や他者とのコミュニケーション力などの能力が高まり、チーム力がアップします。工夫できることはたくさんあるはず。スタッフの声を聞いて課題を洗い出してみましょう。

ボス自身がこれまで当たり前と思っていたことにムダはありませんか？部下の声を聞いてみよう！

- 会議の頻度削減
- 業務情報の共有化
- 定例ミーティングの効率化と時間短縮

イクボス度
アップで
実感！

- チームでサポートし合える体制ができ、安心して仕事ができるようになった！
- 職場の風通しが良くなり、新しいアイデアやチャレンジを提案したりディスカッションしやすい雰囲気になった！